学校だより
友垣
第６号
発　行
真和志中学校
中村　斉

－ 心とともに －

体の成長をめざそう!

身体測定実施

一年間の成長を知ろう!!

十四日（火）は、全学年の身体測定と視力検査、一、三年生の聴力検査が実施されました。

身体測定の目的は、自分の身体の発育状況や健康状態について理解を深め、発育の異常を早期に発見して適切な処置を行うことです。これによって学習における能率の向上を図っていきます。測定は身長・体重・座高の三測です。

また、視力や聴力の検査は、疾病や異常を早期に発見して治療を行うことを目的としています。

学校教育目標の一つ「たくましく生きる生徒」を達成するために、これまでの一年間で自分の身体がどの位成長したのかをしっかり把握することが大切です。そして、これからの一年間で自己管理能力を高めて、健康の保持・増進に努めていって下さい。これからの季節に起こり得る熱中症や、冬のインフルエンザ等の感染症にかからない身体を作っていくことが大切です。また、それが「心豊かな生徒」にもつながっていきます。

保護者の皆さまには測定や検査の結果を学校からお知らせします。視力等に異常があった場合は、速やかに専門医の検診をお願いします。特に眼鏡が必要な場合や調節を必要とする場合は、学習能率にも影響があります。ご協力をお願いします。

◆学校・家庭・地域の連携に向けて①

「家（や）ーなれー運動」

沖縄県教育委員会では、学校・家庭・地域の連携を密にし、家庭への支援並びに地域教育力の向上を目的とした「家ーなれー運動」を平成二十五年度から推進しています。

具体的には、「やーなれーるふかなれー（家庭でのしつけや習慣が、外に出たときの鑑になる）」という沖縄に昔から伝わる教訓をもとに、子どもの成長にとって家庭教育が最も大切だということを基本にした取り組みです。

家庭では「食べて 動いて よく寝よう」を合いことばに、基本的な生活習慣の定着や家族のコミュニケーションを大切にすること。地域では「大人は子どものお手本です」を合いことばに、地域行事における体験活動を推進すること。学校では「声かけで子どもの変化を見逃さない」を合いことばに、生徒への声かけと家庭との連携を図ること。これらの取り組みを通して、児童・生徒の健やかな成長を目指しています。県教育委員会では、「夢実現『親のまなびあい』プログラム」を作成して家庭教育の支援を行っています。

本校においても、今後ＰＴＡ家庭教育部を中心にしてこのプログラムを取り入れて活用するなど、学校・家庭・地域の連携や協力のあり方について理解と周知を図り、真和志地域の子ども達の健全育成と、地域教育力の向上に努めて行きたいと考えています。

「集合訓練」＝ 意識ある行動を発揮!!

九日（木）・十日（金）の集合訓練は、生徒全員の意識ある行動でとても有意義なものとなりました。

一日目は、慣れないこともあって集合のやり直しがありました。しかし、二度目は大変スムーズに集合・整列を行うことができました。また、二日目は、集合時間の二分前には全校生徒が完了しているというすばらしさでした。話を聞く態度も良く顔を上げて静かにしっかり聞いていました。特に、二年生の集合・整列が早く、中堅学年としての意識の高さを感じました。

◇朝のあいさつ運動

本校正門では、毎朝、各部活動や地域の方を中心に「朝のあいさつ運動」を実施いています。部活動は各部が毎日交代で、七時五十分から八時〇五分までの十五分間の取り組みを行っています。

また、地域の新本さん、野里さん、知念さんが毎日、正門前であいさつ運動と安全指導を行っています。新本さんと野里さんは、交代で大道小正門でもあいさつ運動を行っているほか、民生児童員の皆さんも月一回、大道小前であいさつ運動に参加しています。通勤・通学で行き交う皆さんにも「おはよう!」の声かけを行っていて、大道小、真和志中前の通りはさながら「あいさつ通り」と呼べるような様相です